



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 藤倉化成株式会社

コード番号 4620 URL <http://www.fkkasei.co.jp>

代表者 (役職名) 取締役社長

(氏名) 加藤 大輔

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 下田 善三

四半期報告書提出予定日 平成27年11月10日

TEL 03-3436-1101

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

配当支払開始予定日

平成27年12月2日

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	37,006	6.6	1,414	16.6	1,417	13.0	736	8.0
27年3月期第2四半期	34,715	△3.9	1,212	△2.0	1,255	△15.5	681	△27.5

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 844百万円 (46.8%) 27年3月期第2四半期 575百万円 (△73.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	22.51	—
27年3月期第2四半期	20.84	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	53,014		32,336			55.0
27年3月期	52,905		31,930			54.3

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 29,177百万円 27年3月期 28,714百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	7.00	—	7.00	14.00
28年3月期	—	7.00			
28年3月期(予想)			—	7.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	72,000	3.5	2,800	26.8	2,900	12.3	1,600	28.1	48.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	32,716,878 株	27年3月期	32,716,878 株
28年3月期2Q	38,168 株	27年3月期	38,168 株
28年3月期2Q	32,678,710 株	27年3月期2Q	32,678,710 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了いたしました。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。前記の予想に関する事項については、四半期決算短信[添付資料]の3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府による継続的な金融緩和策などを背景に、企業収益は堅調に推移し、雇用・所得情勢に改善が見られるなど、緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国における経済成長の鈍化に伴う景気減速の懸念などもあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループの関連する業界におきましては、自動車産業においては、国内では本年4月に実施された軽自動車税の増税に伴う駆け込み需要の反動などから、軽自動車の販売台数が減少し、国内の新車登録台数は前年同期を下回りました。海外においては、北米市場における自動車販売が低金利ローンなどを背景に順調に推移したほか、欧州市場においても景気回復を受け、自動車販売台数は前年同期を上回りました。住宅産業につきましては、昨年4月に実施された消費税率引上げに伴う駆け込み需要の反動の影響が和らぎ、持ち直しの動きが見られるなど、新築住宅着工戸数は前年同期を上回りました。エレクトロニクス産業につきましては、スマートフォン向けやカーエレクトロニクス向け分野での需要は堅調であったものの、国際的な価格競争が引き続いており収益に影響を与えております。

このような環境の下、当第2四半期連結累計期間の売上高は370億6百万円（前年同期比6.6%増）となり、営業利益は14億14百万円（同16.6%増）、経常利益は14億17百万円（同13.0%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は7億36百万円（同8.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

当第2四半期連結会計期間より、従来「建築用塗料」としていた報告セグメントの名称を「塗料」に変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。

## ① コーティング

プラスチック用コーティング材（『レクラック』・『フジハード』など）を取扱うコーティング部門におきましては、主力の自動車分野向け市場においては、国内および中国市場での自動車生産台数が伸び悩んだ影響を受け需要が減少したものの、北米・東南アジア市場における需要が好調に推移し、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は127億60百万円（同8.5%増）となり、営業利益は8億89百万円（同6.8%増）となりました。

## ② 塗料

建築用塗料を取扱う塗料部門におきましては、消費増税前の駆け込み需要の反動減から持ち直しの動きが見られるリフォーム向け市場において、工事を伴う施工棟数の増加などにより、売上高は前年同期を上回りました。

この結果、売上高は65億54百万円（同5.6%増）となり、営業利益は3億4百万円（同55.1%増）となりました。

## ③ 電子材料

導電性ペースト材（『ドータイト』など）を取扱う電子材料部門におきましては、主要な原材料である銀の建値が下落傾向で推移したことやパソコン向け市場などにおける競争の激化などにより需要が減退し、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は17億48百万円（同8.7%減）となり、営業利益は59百万円（同399.2%増）となりました。

## ④ 機能材料

樹脂ベースなどを取扱う機能材料部門におきましては、メディカル材料分野における伸長があったものの、主力の粘着材ベースが主要ユーザーでの需要が減少したことなどもあり、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、売上高は8億10百万円（同3.3%減）となり、営業利益は31百万円（同202.5%増）となりました。

## ⑤ 化成品

トナー用樹脂などを取扱う化成品部門におきましては、主力ユーザー向けにおけるトナー用樹脂の需要が在庫調整などの影響で前年同期を大きく下回り、売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は9億51百万円（同17.3%減）となり、営業利益は80百万円（同85.1%増）となりました。

## ⑥ 合成樹脂

子会社藤光樹脂株式会社などが取扱うアクリル樹脂の原材料・加工品の販売におきましては、前年度の後半に販売を開始した海外向けの液晶TV用関連製品の需要が順調であったことなどを受け、売上高は増加いたしました。

この結果、売上高は142億28百万円（同10.1%増）となり、営業利益は52百万円（同56.0%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## (資産・負債・純資産の状況)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末と比べ1億9百万円（前連結会計年度末比0.2%）増加し、530億14百万円となりました。

## ① 流動資産

売上債権回収による現金及び預金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ3億14百万円（同1.0%）増加し、328億29百万円となりました。

## ② 固定資産

保有株式の時価の下落による投資有価証券の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ2億5百万円（同1.0%）減少し、201億85百万円となりました。

## ③ 流動負債

買入債務の支払いによる支払手形及び買掛金の減少などの結果、前連結会計年度末と比べ1億21百万円（同0.8%）減少し、156億54百万円となりました。

## ④ 固定負債

社債の償還による減少などの結果、前連結会計年度末と比べ1億75百万円（同3.4%）減少し、50億24百万円となりました。

## ⑤ 純資産

利益剰余金の増加などの結果、前連結会計年度末と比べ4億6百万円（同1.3%）増加し、323億36百万円となりました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の54.3%から55.0%へと0.7ポイント増加となり、1株当たり純資産額は前連結会計年度末より14円18銭増加し、892円85銭となりました。

## (キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億73百万円増加し、100億57百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## ① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払が3億91百万円であったものの、税金等調整前四半期純利益14億17百万円や減価償却費8億90百万円などにより、12億12百万円の収入（前年同四半期連結累計期間は5億90百万円の収入）となりました。

## ② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、有形固定資産の取得による支出7億16百万円、無形固定資産の取得による支出37百万円などにより、5億63百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は5億65百万円の支出）となりました。

## ③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の増加により4億64百万円の収入などがあったものの、社債の償還により2億50百万円の支出、配当金により2億29百万円の支出などがあったため、1億19百万円の支出（前年同四半期連結累計期間は5億41百万円の支出）となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の通期の連結業績予想は、平成27年5月13日に公表いたしました業績予想を変更しておりません。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## (会計方針の変更)

## (企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業

分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

### 3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

## 4. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	10,622,810	10,941,411
受取手形及び売掛金	14,155,550	13,924,036
商品及び製品	3,877,880	3,618,453
仕掛品	112,716	108,968
原材料及び貯蔵品	2,163,249	2,223,906
繰延税金資産	458,727	466,377
その他	1,247,550	1,705,568
貸倒引当金	△123,677	△159,777
流動資産合計	32,514,805	32,828,942
<b>固定資産</b>		
<b>有形固定資産</b>		
建物及び構築物	10,134,847	10,369,099
減価償却累計額	△5,142,593	△5,330,108
建物及び構築物 (純額)	4,992,254	5,038,991
機械装置及び運搬具	12,565,269	12,900,746
減価償却累計額	△9,602,852	△9,920,086
機械装置及び運搬具 (純額)	2,962,417	2,980,660
工具、器具及び備品	3,918,282	4,045,521
減価償却累計額	△3,230,805	△3,324,942
工具、器具及び備品 (純額)	687,477	720,579
土地	4,472,253	4,487,887
リース資産	215,084	313,106
減価償却累計額	△119,322	△146,698
リース資産 (純額)	95,762	166,408
建設仮勘定	135,881	63,435
有形固定資産合計	13,346,044	13,457,960
<b>無形固定資産</b>		
ソフトウェア	792,880	715,607
のれん	121,268	82,032
その他	1,408,079	1,350,168
無形固定資産合計	2,322,227	2,147,807
<b>投資その他の資産</b>		
投資有価証券	2,379,718	2,184,715
長期貸付金	57,175	43,299
繰延税金資産	300,315	319,202
その他	2,017,361	2,071,350
貸倒引当金	△32,818	△38,956
投資その他の資産合計	4,721,751	4,579,610
固定資産合計	20,390,022	20,185,377
資産合計	52,904,827	53,014,319

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,240,981	7,885,473
短期借入金	4,018,469	4,480,967
1年内償還予定の社債	500,000	500,000
未払法人税等	144,693	248,300
未払費用	983,043	938,858
賞与引当金	724,305	587,113
リース債務	42,601	54,040
その他	1,121,079	959,268
流動負債合計	15,775,171	15,654,019
固定負債		
社債	1,500,000	1,250,000
繰延税金負債	25,943	34,290
退職給付に係る負債	2,686,740	2,707,954
長期未払金	279,818	279,716
リース債務	85,147	130,035
その他	621,791	622,426
固定負債合計	5,199,439	5,024,421
負債合計	20,974,610	20,678,440
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	5,352,121	5,352,121
資本剰余金	5,040,199	5,040,199
利益剰余金	16,193,004	16,699,855
自己株式	△24,969	△24,969
株主資本合計	26,560,355	27,067,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	539,343	391,805
為替換算調整勘定	2,568,890	2,667,787
退職給付に係る調整累計額	△954,757	△949,497
その他の包括利益累計額合計	2,153,476	2,110,095
非支配株主持分	3,216,386	3,158,578
純資産合計	31,930,217	32,335,879
負債純資産合計	52,904,827	53,014,319



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	34,715,401	37,006,194
売上原価	26,636,841	28,279,516
売上総利益	8,078,560	8,726,678
販売費及び一般管理費	6,866,385	7,312,976
営業利益	1,212,175	1,413,702
営業外収益		
受取利息	8,011	19,221
受取配当金	35,025	46,971
固定資産賃貸料	28,635	27,396
その他	86,984	132,156
営業外収益合計	158,655	225,744
営業外費用		
支払利息	34,494	30,484
為替差損	45,017	128,234
その他	36,602	63,291
営業外費用合計	116,113	222,009
経常利益	1,254,717	1,417,437
税金等調整前四半期純利益	1,254,717	1,417,437
法人税、住民税及び事業税	261,849	501,156
法人税等調整額	151,524	54,264
法人税等合計	413,373	555,420
四半期純利益	841,344	862,017
非支配株主に帰属する四半期純利益	160,432	126,416
親会社株主に帰属する四半期純利益	680,912	735,601

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
四半期純利益	841,344	862,017
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	57,821	△148,161
為替換算調整勘定	△380,124	139,499
退職給付に係る調整額	36,984	5,260
持分法適用会社に対する持分相当額	19,092	△14,442
その他の包括利益合計	△266,227	△17,844
四半期包括利益	575,117	844,173
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	503,849	692,221
非支配株主に係る四半期包括利益	71,268	151,952

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,254,717	1,417,437
減価償却費	875,226	889,847
のれん償却額	18,337	24,226
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	85,521	30,291
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△39,557	△138,163
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	22,865	40,695
受取利息及び受取配当金	△43,036	△66,192
支払利息	34,494	30,484
売上債権の増減額 (△は増加)	△628,777	318,350
たな卸資産の増減額 (△は増加)	94,731	264,610
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△145,144	△501,500
仕入債務の増減額 (△は減少)	△344,353	△420,391
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	4,473	△195,514
その他	△15,428	△226,269
小計	1,174,069	1,467,911
利息及び配当金の受取額	48,971	66,192
利息の支払額	△35,745	△34,351
法人税等の支払額	△667,223	△391,164
法人税等の還付額	70,268	103,838
営業活動によるキャッシュ・フロー	590,340	1,212,426
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△441,478	△716,058
定期預金の払戻による収入	741,420	907,193
有形固定資産の取得による支出	△465,480	△716,106
無形固定資産の取得による支出	△43,643	△36,561
投資有価証券の取得による支出	△3,101	△24,176
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△133,230	-
その他	△219,469	22,898
投資活動によるキャッシュ・フロー	△564,981	△562,810
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	48,244	464,435
長期借入金の返済による支出	△42,765	△46,095
社債の償還による支出	△250,000	△250,000
リース債務の返済による支出	△24,526	△28,440
配当金の支払額	△228,751	△228,751
非支配株主への配当金の支払額	△43,650	△29,833
財務活動によるキャッシュ・フロー	△541,448	△118,684
現金及び現金同等物に係る換算差額	△105,292	41,994
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△621,381	572,926
現金及び現金同等物の期首残高	8,833,585	9,484,255
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,212,204	10,057,181

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	11,753,704	6,203,956	1,905,580	838,045	1,149,330	12,864,786	34,715,401
セグメント間の内部売上高又は振替高	2,018	-	8,256	201	-	61,382	71,857
計	11,755,722	6,203,956	1,913,836	838,246	1,149,330	12,926,168	34,787,258
セグメント利益	832,389	195,808	11,769	10,133	42,963	119,212	1,212,274

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,212,274
セグメント間取引消去	△99
四半期連結損益計算書の営業利益	1,212,175

II 当第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	コーティング	塗料	電子材料	機能材料	化成品	合成樹脂	計
売上高							
外部顧客への売上高	12,760,338	6,554,406	1,742,635	809,864	950,803	14,188,148	37,006,194
セグメント間の内部売上高又は振替高	-	-	5,016	334	-	40,317	45,667
計	12,760,338	6,554,406	1,747,651	810,198	950,803	14,228,465	37,051,861
セグメント利益	888,775	303,766	58,751	30,657	79,543	52,482	1,413,974

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,413,974
セグメント間取引消去	△272
四半期連結損益計算書の営業利益	1,413,702

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第2四半期連結会計期間より、従来「建築用塗料」としていた報告セグメントの名称を「塗料」に変更しております。なお、セグメントの名称変更によるセグメント情報に与える影響はありません。また、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。